

第21期第2回常任理事会議事録

日時 昭和55年8月25日(月)9.45~13.00

場所 気象庁予報部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 黒木,
杉村, 竹内, 二宮, 松本, 増田, 村山

報告

- [庶務] 1. 7月21日, 日産科学振興財団から, 第7回日産学術研究助成候補推薦の依頼がきた。
2. 7月29日, 朝日新聞社から, 朝日賞候補の推薦依頼がきた。
3. 8月8日, 気象庁から, 第28回交通文化賞候補者推薦依頼がきた。
4. 8月11日, 中部支部長から, 第4期役員の報告がきた。
5. 8月13日, (財)KDD エンジニアリングアンドコンサルティングから, 昭和55年度国際通信研究奨励金について案内がきた。
6. 8月21日, 気候変動シンポジウムの開催について気象庁後援名義の使用を申請したところ, 了承された旨回答がきた。
7. 8月21日, 日本アイソトープ協会から第18回理工学における同位元素研究発表会の共同主催について依頼がきた。

[会計] 7月分の会計報告

[天気] 8, 9月号の目次について報告, 8月号に「科学者憲章」を掲載, 9月号に“IAMAP at Hamburg 1981”を掲載。

[気象集誌] 9月12日に新旧合同委員会を開催する。編集委員1~2名を追加したい。

[講演企画] 9月1日新旧合同委員により秋季大会プログラム編成。

[奨励金] 8月22日に推薦のあった件について選考委員会を開催。選考結果の報告があった。

[学術用語] 学術審議会学術用語分科会気象学用語専門委員会の主査を大井正一氏の代りに村山信彦氏を推薦する。

[気象教育と普及] 気象学の普及書は, “教養の気象学”という題名になり, 9月下旬~10月上旬に発行予定。

議題

1. 大会運営について
講演企画担当の増田理事から, 大会の運営

について次のような提案があった。(1)最近講演申込数が激増し, プログラム編成が困難になってきた。しかし, 現在の3会場3日間という会期および会場をふやすことは色々の点から不可能であろう。(2)従って現在の9時開始を8時30分に繰り上げるとか, 昼休みも通して発表をし食事は適時とするようにするなどの方法を考える必要がある。(3)さらに, 同じ題目の研究発表で「その1」「その2」となっているものは, 1つにまとめてもらう。また, 1人1題目に制限するとか, スライドの枚数を制限することなども考慮する必要がある。(4)座長に対する謝礼が現在何もない。財政が許せば初日の昼食を共にして座長との打合せをしたい。(5)春季大会の第2日午後は, シンポジウムのあとに総会, さらに学会賞, 藤原賞受賞記念講演と盛り沢山で, 講演時間が少なく十分な討論ができない。シンポジウムをやめ, その代りに山本賞受賞記念講演を加えたらどうか。これについて種々討論されたが, ア. シンポジウムに引き続いて総会を行うようにしないと総会の成立が危ぶまれる。イ. 山本賞は, 新人賞で未完な面もあり, 将来学会賞に発展する可能性もあるのでその必要はない。などの意見が出され, 座長会議を開くことが了承された以外は, 引き続き議論することになった。

2. 評議員の選出について

ポストを優先することとし, 気象庁長官増沢譲太郎氏, 予報部長清水逸郎氏, 観測部長末広重二氏, また前長官山本久尚氏に委嘱することにした。

3. 100周年記念事業準備委員会について

役員改選に伴う異動により新たに次の方に委嘱することにした。

準備委員長 小平 信彦理事
「天気」 内田 英治理事
「気象集誌」 二宮 洸三理事
講演企画 増田 善信理事
会計 荒井 康理事
京都大学 山元竜三郎理事

東大海洋研 木村 竜治氏
 気象庁
 企画課長 駒林 誠氏
 業務課長 新田 尚氏

4. その他

- (1) 前理事へ記念品贈呈について 恒例により事務局で記念品を調達し、さしあげる

ことにした。

- (2) 秋季大会委員長の委嘱について 関西支部長山元竜三郎氏に委嘱することで了承された。

承認事項 上野孝雄ほか14名の新入会員を承認

第21期第3回常任理事会議事録

日時 昭和55年9月29日(月) 8.45~12.30

場所 気象庁総務部入札室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 黒木, 二宮, 松本, 増田, 村山

- 報告 1. 9月8日, 沖繩支部長から, 第5期沖繩支部役員の報告がきた。
 2. 9月11日, 第21回国際理論応用陸水学会議組織委員会から, 会議資料が送られてきた。

〔会計〕 8月分の会計報告。委員会の予算要求については講演企画委員会から出ている。

〔気象集誌〕 編集委員として九州大学の宮原三郎氏を追加したい。また100周年記念特別号の編集委員として, 吉野正敏(筑波大学), 廣田勇(京都大学), 松野太郎(東京大学), 新田尚(気象庁)の4氏を21期の編集委員のほかにお願したい。

〔気象研究ノート〕 第1回目の委員会で引継ぎ事項について検討した。企画して進んでいないものについては, 10月20日の委員会で整理する。この際進めてゆくもの, やめるものについてははっきりさせる。編集事務担当は野口晋孝氏である。

〔講演企画〕 9月1日に秋季大会プログラム編成, 大阪管区気象研究会と共催のため講演数多く245編の申込みがあった。従って講演時間を12分, スライドを8枚に制限するようにした。第1日目の昼に, 座長会議を開いてスムーズに運営できるよう協力をお願いしたい。

〔学会賞・藤原賞〕 学会賞担当理事 松本誠一
 委員 山元竜三郎, 田中正之, 朝倉 正, 松野太郎

藤原賞担当理事 松本誠一

委員 浅井富雄, 清水逸郎, 斎藤直輔, 吉野正敏

以上21期の委員をお願いしたい。推薦について選考もれになったものを次回の推薦の中に入れるかどうかははっきりさせたい。学会賞, 藤原賞の受賞者選定規定によると学会賞が9月に, 藤原賞が8月に委員を委嘱するとなっているが, 時期的に無理がある。検討を要する。

〔奨励金〕 さきの常任理事会で報告したが, 全理事に資料を送り投票させる。

〔長期計画〕 委員指名

〔教育と普及〕 教養の気象学ができあがった。さきに提出した委員のうち島貫陸氏を削除し, 担当理事に山元竜三郎氏, 委員に古橋重利氏(大阪)を追加したい。

〔学術用語〕 (1) 9月13日第1回の委員会を開いた。

(2) 文部省学術用語集気象学編(第1版4刷)の出版に携わった大井正一会員(当時担当理事)から経緯, 経験などをうかがった。

(3) 用語集改訂版の出版を目標とした作業手順を作り, 早速各委員が作業に着手した。昭和56年2月第2回会合を開き, 原稿の草案をまとめる予定である。

(4) 用語集第1版4刷の訂正加除を行う。新しい用語の追補に力を入れる。改訂版出版は, 56年度中を予定している。

〔山本賞〕 委員指名

議題 1. 全国理事会提出課題

- (1) 昭和56年度第1次予算(案)について